

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ソラリス		ワークス	FHエージェントA	カヴァー	
	ソラリス					
オプション			年齢	外見上は18~20(本来は29)	性別	女
覚醒	死	衝動	妄想	初期侵食率	32	%
出自		経験		邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	1	0			1	行動値	4
感覚	0		0	1		1	(非装備時)	4
精神	2		0			2	戦闘移動	9
社会	6		0			6	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃			RC	1		交渉		
回避	3		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ワイヤーウィップ	白兵	1r+3	-	6		
解毒融合・白の口鼻(パッチワーク・ストリングスネーク)	白兵	3r+3	-	6		C値10、ダメージで邪毒ランク9付与。
解毒融合・愛麗の赤き髪(人形/パッチワーク・フリーストリングボール)						「融合」

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
エンシェントキーパー					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
超血統	P	N			
リエゾンなんとかさんの人	P 尽力	N 無関心			
赤い糸	P 信頼	N 脅威			
浅倉様	P 執着	N 憐憫			
ヴァイパーナム	P 感服	N 不快感			
ガランサス	P 親近感	N 嫌気			
コニユウム	P 親近感	N 嫌気			
最大財産P:	14	残り財産P:	6		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
融合	1	2	セットアップ	至近	単体	自動	120↑	
効果:	重圧を受けていても使用可能。ラウンド間、対象はあなたの「融合」以外のすべてのエフェクトを使用できる。ただし、自分は移動できず、常に対象と同エンゲージに移動する。							
猛毒の雫	9	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	メインプロセスでの攻撃でHPダメージを与えた場合、邪毒ランクLVを与える。							
アドレナリン	1	3	メジャー/リアクション	-	-	-	-	
効果:	ダイス+[LV+1]個。							
ポイズンフォッグ	1	2	メジャー	至近	範囲(選択)	-	-	
効果:	射程を至近、対象を範囲(選択)にする。シナリオLV回。							
麗しの容貌	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

本名: 浅倉 あやめ(あさくら あやめ)

気品ある言葉遣いをする、如何にもお嬢様という感じの女性。しかし、それは想い人に自分が、自分であるとはれないための擬態である。普段セルの中では、店の内装に使う縫物をしている。反面、それは裏方の中の裏方のような作業であり、接客や料理などに関わらないため、影は薄い。元々セルにも想い人がいると聞いてやって来たので、関心も薄い。リエゾンなんとかとかが言う人が、ミナミの能力に目をかけて、想い人の居場所まで探してくれたけどよく覚えてない。想い人への興味は強く、彼がどこかに行こうものなら、勝手について行く。何度も殺されたけど死なないし、構われるだけいいと思っていたが、殺されなくなった今、どうにか彼の気を引こうと思っている。戦闘時は糸に自分の毒を含ませて攻撃するが、精度は低い。リエゾンなんとかの人から貰った赤い糸は、自分の肉を誰かに縫い付けることができ、自分の能力を使わせることができる。

割と裕福な家に生まれた。友達を持っていないおもちゃを持っている方だったし、「いいなあ」「羨ましい」なんて言われたこともあった。ただ、なんとなく物心ついた頃には、家に居づらさを感じていた。お母さんはガミガミ言うわけじゃないし、お父さんは休日に遊んでくれたし、親戚仲も良かった。だから自分も「自分は幸せなんだぞ」って笑顔を浮かべていた。

ある日の土曜のことだった。いつもの土曜の午前だったら自分含め用事があるので、家には私一人。居心地が良い、と思ってしまった。